

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 5 - 7
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☐ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 英語指導助手招致事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 10. 教育費 項 1. 教育総務費 目 3. 教育振興費

担当 課 教育委員会管理課 担当係名 総務学校係 調書作成者職氏名 係長 堺井敏明

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 127

分類	コード	名 称
基本目標	4	知識を高める“まちづくり”
施策項目	20	幼児教育・学校教育の充実
単位施策	8	国際化・情報化に対応した教育の推進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ・ 町内小中学校及び高等学校の児童生徒
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・ 英語指導助手の配置により、教員のサポート及び児童生徒に対し直接語学指導を行う。
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ・ 国際化に対応した語学力の向上を目指し、学校における英語教育指導の充実を図る。

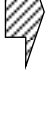
II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	活動指標	英語指導助手	目標値 実績値	名	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	5,188	4,430	5,641	4,638	6,280	5,071	26,060
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債						4,000	4,000
その他							0
一般財源	5,188	4,430	5,641	4,638	6,280	1,071	22,060

Ⅳ. 担当課による事務事業の評価

区 分		チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性	(1) 町の政策的な事業である。	 ・長期間にわたって実施している事業であり、小学校から高等学校までの英語指導助手による語学指導が定着している。
	(2) 公共性が高い事業である。	
	(3) 緊急性が高い事業である。	
	(4) 法令等により実施が義務付けられている。	
	(5) その他 【具体的に記載】	
2. 経済性・効率性	(1) 費用に見合う効果がある。	 ・英語指導助手による各学校への巡回指導により、語学学習の充実が図られている。
	(2) コスト削減の余地がある。	
	(3) 受益者負担の余地がある。	
	(4) 補助制度等活用の可能性がある。	
	(5) その他 【具体的に記載】	
3. 必要性	(1) 町民のニーズがある。（高い）	 ・学校での指導のほか、ボランティアで英会話教室に参加し、町民と積極的に交流を深めている。
	(2) 事業を継続する必要がある。	
	(3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。	
	(4) その他 【具体的に記載】	
4. 代替性	(1) 行政主体による実施が適当である。	 ・代替不可
	(2) 民間委託等による実施が可能である。	
	(3) 住民協働（主体）による実施が可能である。	
	(4) その他 【具体的に記載】	
5. 事業の達成度	(1) 期待どおりの成果があがっている。	 ・英語担当教員との連携により、授業の充実が図られている。 ・派遣当初から日本語がある程度話せる指導助手の配置を検討する必要がある。（コミュニケーションに時間がかかるため）
	(2) 概ね期待どおりの成果があがっている。	
	(3) 成果が不十分である。	
	(4) 事業の見直し等が必要である。	
	(5) その他 【具体的に記載】	

特記事項

Ⅴ. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	新学習指導要領でも小学校（5、6年）から外国語活動における指導体制の充実が求められており、教員のサポート体制は必要である。また、日本語によるコミュニケーションが可能な人員配置の検討も必要である。
二 次 評 価		二次評価対象外

Ⅵ. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

Ⅶ. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

- ☆ 評 価
- (1) 継 続 【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの

(2) 継 続 【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの

(3) 継 続 【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの

(4) 継 続 【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

(5) 終 了⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了

(6) 休 止⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止

(7) 廃 止⇒ この事業を廃止するもの